

平成28年度倫理審査委員会申請一覧

	受付年月日	申請年月日	課 題 名 及 び 概 要	職 名	氏 名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間(終了)
1	H28.4.1	H28.4.1	糖尿病性腎症におけるミトコンドリア機能蛋白の発現解析 腎生検症例の残余検体(パラフィン包埋ブロック切片)を用いて組織染色を行い糖尿病性腎症腎組織におけるミトコンドリア蛋白の発現について検討する。	診療部長	今澤 俊之	H28.4.13	特段の問題はないので承認とする。	H30.3.31
2	H28.4.1	H28.4.1	パーキンソン症候群(PS)の生体試料収集とその収集・保存体制整備に関する研究(変更) 臨床調査個人票を活用し、経時的变化も把握しながら経時的にPS症例の血液、髄液などの生体試料の収集を行い、また比較対象として他の神経疾患症例についても同様に収集し、収集した生体試料を用いて病気の進行とともに変化する診断・評価マーカーの検索、病態解明、治療法の開発に活用することを目的としている。	神経変性疾患研究室長	磯瀬 沙希里	H28.4.27	特段の問題はないので承認とする。	H32.3.31
3	H28.4.14	H28.4.14	糖尿病腎症の重症度や予後を反映する尿中因子、ならびに血漿中因子の探索研究 腎組織の多層的疾患オミックス解析を中心とした研究の解析結果の検証を目的として糖尿病腎症の前向き観察研究集団から臨床検体を収集し、腎組織の多層的疾患オミックス解析を中心とした研究にて得られた因子と糖尿病腎症の進行、停止、寛解との関連解析を行う。	診療部長	今澤 俊之	H28.4.27	特段の問題はないので承認とする。	H32.3.31
4	H28.5.2	H28.5.2	献腎移植レシピエント指導用チェックリストの作成 献腎移植後の患者がどのようなプロセスを経て移植を受容していくのか研究を行った。そこで得た患者からの声をもとに術後指導チェックリストの作成を行い、今後の看護介入に活かしていく。	看護師	森 香菜子	—	差し戻し中	
5	H28.5.31	H28.5.31	ALS患者に対する蘇生バックを用いた呼吸理学療法: MICTトレーニングの効果の検証 ALS患者に対するMICTトレーニングの効果検証を行い、今後のALS患者の診療に役立てる。	運動療法主任	秋田 賢	H28.6.21	特段の問題はないので承認とする。	H30.3.31
6	H28.6.6	H28.6.6	QFT-PlusとT-SPOT検査の腎移植患者における性能・特性比較に関する研究 腎移植患者における潜在性結核感染症診療ツールとしてのQFT-PlusとTSPOT検査の性能比較をする。	呼吸器科医長	石川 哲	H28.8.25	特段の問題はないので承認とする。	H30.3.31

受付年月日	申請年月日	課 題 名 及 び 概 要	職 名	氏 名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間(終了)	
7	H28.6.7	H28.6.7	重症心身障害児(者)の骨粗鬆症に対するアレンドロネート静注製剤の有効性、安全性の検討	診療部長	松村 千恵子	H28.6.21	特段の問題はないので承認とする。	H31.6.30
			重症心身障害児(者)では、長期臥床、低栄養、日光曝露不足、抗けいれん薬の投与といった要因により骨粗鬆症や骨折の合併が指摘されており、その対策は重要である。重症心身障害児(者)の骨粗鬆症に対するビスホスホネート系骨粗鬆症治療薬のアレンドロネート静注製剤の有効性、安全性を検討する。					
8	H28.6.7	H28.6.7	腎生検標本を用いた定量的計測の実施	診療部長	今澤 俊之	H28.6.21	特段の問題はないので承認とする。	H31.3.31
			腎疾患の進行速度および腎死・個体死・心血管イベントの発症と腎生検標本を用いた定量的な計測(採取された皮質の面積、糸球体数、硬化糸球体数、糸球体面積)によった得られたデータとの相関を検討する。					
9	H28.6.8	H28.6.8	糖尿病性腎症における病理学的予後規定因子の同定	診療部長	今澤 俊之	H28.7.13	特段の問題はないので承認とする。	H29.3.31
			種々の臨床背景をもつ患者に対して、腎生検および各種検査結果を用い、糖尿病性腎症の進展機序の解明と予後解析を行う。					
10	H28.6.13	H28.6.13	Kidney Dialysis in Japan:A Study of Health Care in a Social Democracy(日本における腎臓透析:社会民主主義医療に関する研究)(変更)	血液浄化センター長	首村 守俊	H28.7.13	特段の問題はないので承認とする。	H30.8.31
			日本は全経済開発協力機構諸国の中でも腎臓透析の治療を受ける患者が最も多い国である。日本の腎臓透析の研究、具体的にはどのように患者が難しい透析治療に向き合っているのか、また透析治療に向き合っているのか、また透析治療以外にも健康を取り戻すために、腎臓移植などの、より侵襲的治療を検討したりすることはないのか、その場合治療中どの時点でそのようなオプションを考えるのかについて研究する。					
11	H28.6.23	H28.6.23	精神発達遅滞のある患者への生体腎移植症例の報告	看護師	村山 尚子	H28.8.31	特段の問題はないので承認とする。	H29.3.31
			精神発達遅滞のある患者に対し看護計画を実施した症例を振り返り実施した看護介入が適切であったかを考察する。					
12	H28.7.14	H28.7.14	糖尿病性細小血管合併症の新規診断法・治療法に関する研究	糖尿病研究室長	関 直人	H28.8.31	特段の問題はないので承認とする。	H31.8.31
			糖尿病性細小血管合併症は重篤な合併症が進行するまで自覚症状を伴わないことが多く日常診療の現場でその病期や予後・進行性などを診断可能なバイオマーカーが開発されればその意義は高い。糖尿病腎症関連蛋白質と糖尿病腎症との関連を検証し糖尿病腎症診断薬の開発を目指す先行研究に血球ゲノム尿試料中ゲノムを加えて追加解析対象とする。					

受付年月日	申請年月日	課 題 名 及 び 概 要	職 名	氏 名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間(終了)	
13	H28.7.20	H28.7.20	神経筋疾患における電気生理学的検査の有用性に関する多施設共同観察研究(変更)	神経変性疾患研究室長	磯瀬 沙希里	H28.8.25	特段の問題はないので承認とする。	H33.3.31
			電気生理学的検査を多施設間で統一された手技で、種々の神経筋疾患を対象に行い、正常値の設定、診断基準の作成、病態の評価などを行う。					
14	H28.8.30	H28.8.30	結核病患者の褥瘡治療期間に影響を及ぼす要因	形成外科医長	千明 信一	H28.9.8	特段の問題はないので承認とする。	H30.3.31
			結核患者における褥瘡発生の状況を明確にし治療期間に影響を及ぼす要因を調査し今後の予防、治療の補助とする。					
15	H28.9.7	H28.9.7	腎疾患における原因遺伝子の検索	診療部長	今澤 俊之	H28.9.30	特段の問題はないので承認とする。	H35.3.31
			腎疾患に関わる遺伝子の変異とその機能を検討することにより、遺伝性腎疾患を有する患者および家族の診療と遺伝性腎疾患の研究の進展に貢献し疾患成立機序の解明、現行治療法の適正化、新規治療法の開発、疾患予後の予測、遺伝相談の実施に寄与することを目指す。					
16	H28.10.24	H28.10.24	リツキシマブ療法を施行した難治性ネフローゼ症候群におけるインフルエンザワクチンの有効性と安全性	診療部長	松村 千恵子	H28.11.1	特段の問題はないので承認とする。	H29.5.31
			1年以内にリツキシマブを投与した3歳以上の難治性ネフローゼ症候群患者(B細胞枯渇中、回復後)にインフルエンザワクチンを接種し、摂取前、摂取1ヶ月後、3ヶ月後抗体価を測定し、血清学的有効性(幾何平均抗体価上昇率、抗体陽転率、抗体保有率)、B細胞数との投与後の有害事象を評価する。					
17	H28.10.26	H28.10.26	重症低血糖発作を合併するインスリン依存性糖尿病に対する脳死および心停止ドナーからの膵島移植(変更)	統括診療部長	丸山 通広	H28.11.16	特段の問題はないので承認とする。	H31.5.31
			同種膵島移植における臨床的効果と安全性を検討する。					
18	H28.11.1	H28.11.1	慢性腎臓病症例における尿中pyruvate kinaseの測定	診療部長	今澤 俊之	H28.11.15	特段の問題はないので承認とする。	H29.12.31
			糸球体上皮細胞で発現が更新していたpyruvate kinaseの尿中での測定が糖尿病性腎症の早期発見あるいは重症化予測のマーカーになり得るかについてのfeasibility studyを実施する。					
19	H28.11.22	H28.11.22	本邦小児におけるカンデサルタン シレキセチルの使用実態調査	小児科医長	金本 勝義	H28.12.5	特段の問題はないので承認とする。	H29.4.30
			本邦小児におけるカンデサルタン シレキセチルの使用実態に関して用法用量及び有害事象の発現状況を把握する。					

受付年月日	申請年月日	課 題 名 及 び 概 要	職 名	氏 名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間(終了)	
20	H28.11.29	H28.11.29	移植腎病理とドナー・レシピエント腎機能の関連	臨床病理診断部長	北村 博司	H29.3.2	特段の問題はないので承認とする。	H30.3.31
		腎移植患者に対して移植腎生検及び各種検査結果を用いドナーの腎機能予後、移植腎機能の進展機序の解明と予後解析を行う。						
21	H28.12.6	H28.12.6	特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究 (Japanese idiopathic interstitial pneumonias registry JIPS Registry -NEI030-)	呼吸器科医長	石川 哲	H28.12.16	特段の問題はないので承認とする。	H32.3.31
		特発性肺線維症診断ガイドライン、特発性間質性肺炎分類ステートメントに基づいてIIPs分類別の疾患頻度、背景、診断法を調べる。また日本国内のIIPs分類別の予後、呼吸機能、イベント(予定外入院、急性憎悪、肺癌、肺移植)、患者報告アウトカム(QOL、呼吸困難等)を調査する。また登録時と最終観察時に中央判定によるmultidisciplinary discussion(MDD)を行い、有用性を調査する。						
22	H28.12.7	H28.12.7	小児ネフローゼ症候群の疾患感受性遺伝子及び薬剤感受性遺伝子同定研究	小児科医長	金本 勝義	H28.12.27	特段の問題はないので承認とする。	H33.3.31
		小児ネフローゼ症候群の患者とその家族及び健常成人を対象として臨床情報を収集する。主としてパラメトリックモデルを用いたゲノムワイドSNPs解析を行い、疾患感受性遺伝子及び薬剤感受性遺伝子を明らかにする。						
23	H28.12.8	H28.12.8	CKD市民公開講座における配布資料の違いによる理解度の差異を調査するためのアンケート調査	診療部長	今澤 俊之	H28.12.20	特段の問題はないので承認とする。	H29.3.11
		慢性腎臓病から重症化し透析に至る数を抑制するために適切な腎臓専門医への受診を促すべく日本腎臓学会は「専門医受診の紹介基準」を明示しているがより適切な受診促進を進めるために誤解の生じないような順番や表記が望まれるため配付資料の違いによる理解度の差を調査するためのアンケート調査を行う。						
24	H28.12.22	H28.12.22	腎疾患における原因遺伝子の検索(変更)	診療部長	今澤 俊之	H29.1.11	特段の問題はないので承認とする。	H35.3.31
		腎疾患に関わる遺伝子の変異とその機能を検討することにより、遺伝性腎疾患を有する患者および家族の診療と遺伝性腎疾患の研究の進展に貢献し疾患成立機序の解明、現行治療法の適正化、新規治療法の開発、疾患予後の予測、遺伝相談の実施に寄与することを目指す。						
25	H28.12.22	H28.12.22	腹膜透析カテーテルの出口部感染防止へ向けた取り組み—テープかぶれ・かゆみ発生要因の検討—	副看護師長	小山 真利子	H29.3.7	特段の問題はないので承認とする。	H28.12.28
		腹膜透析患者のテープかぶれ・かゆみの発生要因を明らかにする。						

	受付年月日	申請年月日	課 題 名 及 び 概 要	職 名	氏 名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間(終了)
26	H29.3.6	H29.3.6	当院脳剖検症例の高齢者ブレインバンク登録とそれに伴う脳献体の移動、神経病理診断、検体の保存、研究使用の委託	神経内科医長	本田 和弘	H29.3.21	特段の問題はないので承認とする。	-
			当院脳剖検症例の高齢者ブレインバンク登録とそれに伴う脳献体の移動、神経病理診断、検体の保存、研究使用の委託を可能にする。患者・医師・研究者による疾患克服のための市民運動であるブレインバンク事業に協力し検体を研究に役立てる。					
27	H29.3.6	H29.3.6	プレクリニカル期におけるアルツハイマー病に対する客観的画像診断・評価法の確立を目指す臨床研究	神経内科医長	本田 和弘	H29.3.21	特段の問題はないので承認とする。	H33.3.31
			認知機能低下前アルツハイマー病の進行を観察・予測可能な検査指標を見出す。					
28	H29.3.6	H29.3.6	腹膜透析患者における皮膚pHと腹膜透析カテーテル関連感染症	内科医師	上原 正樹	H29.3.22	特段の問題はないので承認とする。	H31.3.31
			腹膜透析患者における皮膚のpHを評価して、出口部感染・トンネル感染を起こしやすい皮膚の状態を推察し、今後のより良い出口部管理法の検討につなげる。					
29	H29.3.14	H29.3.14	ALS患者に対する蘇生バックを用いた呼吸理学療法：MICTレーニングの効果の検証(変更)	運動療法主任	秋田 賢	H29.3.28	特段の問題はないので承認とする。	H32.3.31
			ALS患者に対するMICTレーニングの効果検証を行い、今後のALS患者の診療に役立てる。					